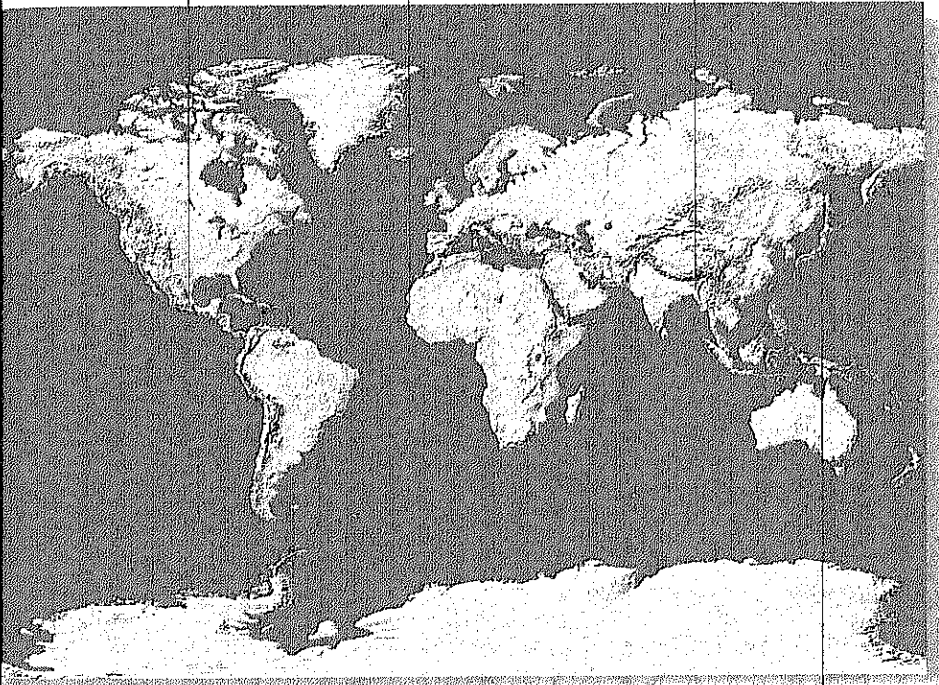


參考資料

● Bangladesh

● Senegal

● Mexico



and Japan

事前研修

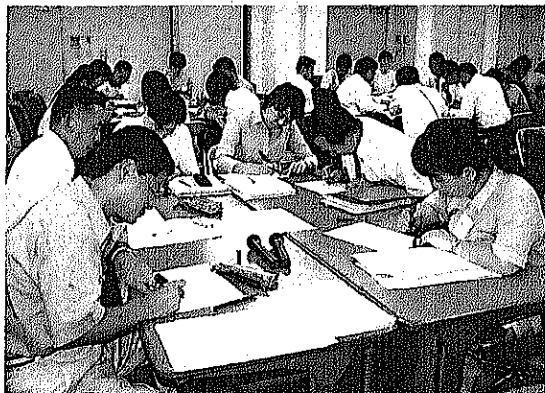
国内機関研修

実施時期：平成14年7月

実施場所：JICA各国内機関

研修内容：開発途上国の現状と課題

ODAとJICAについて

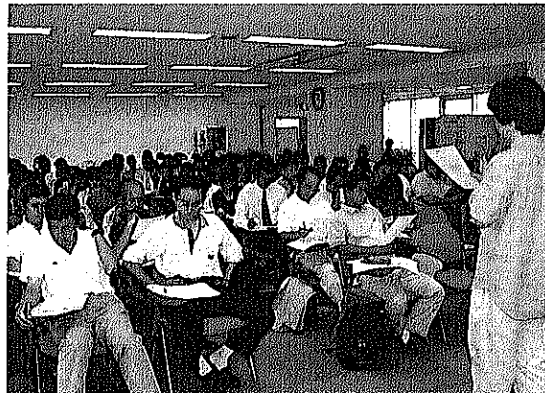


全国から集結した熱意ある先生方。小学校、中学校、高校の枠を越え、意見交換。名刺づくりに取り組み中。

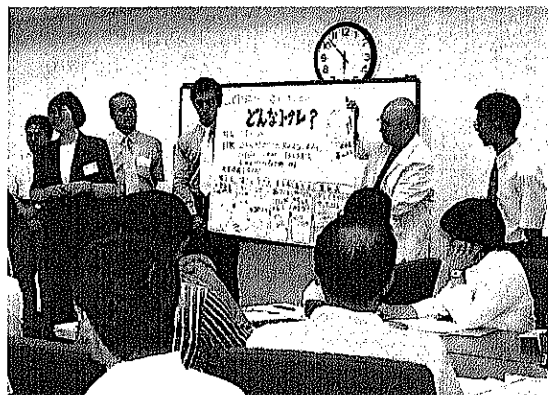
東京研修

実施時期：平成14年7月29日(月)～30日(火)

実施場所：JICA東京国際センター (TIC)



「開発教育」その歴史と実践について全体講義中。



海外研修をいかに「授業」で還元できるか?!
授業案づくりとその発表、企画からプレゼンテーションまで、力が入ります。



工作?いえいえ、世界の“富”の流れを体験・体感しているのです。
～貿易ゲームの実践より～

東京研修日程

7月29日(月)

参加者同士の親睦を図り、且つ、お互いの状況を理解しながら、問題意識・課題の共有を図ることを目的とする。

第1日目

13:00~	受付開始	TIC本館ロビー
14:00~14:30	開会 1. 主催者挨拶 国際協力機構 国内事業部長 湊 秀郎 TIC施設説明 TIC特別業務室 湯本 真知子 2. 同行者紹介 3. 事前研修予定説明	オリエンテーションルーム (本館4階)
14:30~15:10	自己紹介 (※2部屋×6グループに分かれて実施)	セミナールームA・B 多目的ホール
15:20~	テーマ別ディスカッション ・教科や学校で抱えている問題を出し合い、関心のあるテーマについて話し合いながら、模擬授業案を作成する。 ・小学校・中学校・高校教師を混在させた形で全体を7~8名×12グループ、2部屋に分かれて討議する。	セミナールームA・B (別館2階) 多目的ホール(別館1階)
17:20~17:30	休憩	
17:30~18:20	テーマ別ディスカッション発表 ・6グループずつ(各部屋ごと)の中で発表しあう。	セミナールームA・B 多目的ホール(別館1階)
18:30~	事例発表 横浜市立横浜商業高等学校の取り組み 講師：小市 聡教諭(平成13年度高校教師海外研修ベトナムコース参加者)	オリエンテーションルーム (本館4階)
19:15~19:30	派遣国別自己紹介	

7月30日(火)

午前は開発教育を実践するための具体的な手法を学び、午後は海外での研修を、より実りの多いものとするため、渡航の準備や現地での状況把握を行うことを目的とする。

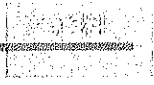
第2日目

8:50~10:15 (パート1)	開発教育アクティビティの紹介 ・異文化やコミュニケーションについて扱ったアクティビティを実践しながら紹介する。 講師：湯本浩之氏(開発教育協会) 中村絵乃氏(開発教育協会)	セミナールームA・B (別館2階) 多目的ホール(別館1階)									
10:15~11:45 (パート2)											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>第1班</th> <th>第2班</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パート1</td> <td>「新貿易ゲーム」</td> <td>「バーンガ」</td> </tr> <tr> <td>パート2</td> <td>「バーンガ」</td> <td>「新貿易ゲーム」</td> </tr> </tbody> </table>		第1班	第2班	パート1	「新貿易ゲーム」	「バーンガ」	パート2	「バーンガ」	「新貿易ゲーム」	
	第1班	第2班									
パート1	「新貿易ゲーム」	「バーンガ」									
パート2	「バーンガ」	「新貿易ゲーム」									
11:45~12:00	休憩										
12:00~	開発教育概論 講師：湯本浩之氏(開発教育協会) ・開発教育の考え方、総合的な学習の時間への導入などについての動きを整理する。 実践報告書(教材集)作成にあたってのポイント	多目的ホール									
12:40~	昼食	食堂または各自									
13:40~	教材集の作成について 国内連携促進課 鈴木 幸枝 ・研修報告書の作成と提出に関する説明 ・実践報告書(教材集)の趣旨説明と、提出方法について	多目的ホール									
14:15~	休憩										
14:30~	コース別打ち合わせ JICA同行者を中心に、現地での視察の目的、ねらい、訪問先での対応等について話し合う。	セミナールームA セミナールーム12 セミナールーム13 セミナールーム15									
15:45~	渡航手続等説明 各旅行代理店より ・パスポート他関係書類の手交と、提出方法についての説明	多目的ホール セミナールームB 多目的ホール 多目的ホール									
16:30~	休憩、荷物整理等										
18:00~20:00	結団式	体育館									

コース別日程／参加者氏名

セネガル Senegal

月日	曜日	時間	行 程	宿 泊 地
7月31日	水	21:55	成田空港発 (AF273)	機内
8月 1日	木	4:15 16:40 20:25	パリ着 パリ発 (AF718) ダカール着	ダカール
8月 2日	金	9:00 14:40 15:00	JICA事務所 事業概要説明/ブリーフィング他 ホテルから移動 専門家の活動現場訪問(1)(地図局:地理教材(セネガル地図)の購入含む)	ダカール
8月 3日	土	9:00 17:00	伝統医療センター ダカール郊外 塩湖(LAC ROSE)見学/昼食 砂丘(砂漠化現象の一端)視察 ダカールへ	ダカール
8月 4日	日	14:30	地方都市へ移動(3グループに分散して地方へ) 第1グループ:(ルーガ方面) 第2グループ:(ティエス方面) 第3グループ:(ファティック方面) 北部方面 中部方面 南部方面 JOCV(村落開発普及員)と夕食 ティエス在住のJOCVと夕食 MBOURへ	各ホテル
8月 5日	月	終日	・チョウウォール村「環境(植林)の日」セレモニー ・現地NGO(PLAN)の村落開発プロジェクト視察 ・チョウウォール村女性グループとの意見交換 ・セネガル相撲観戦 ・近隣の農村(Dlayane)へ移動 ・農村体験 ・近隣の農村(Nguekhokh)へ移動 ・農村体験	各ホテル
8月 6日	火	午前 午後	・レオナ村訪問(小学校・村の診療所・私設薬局他視察) TIVAOUANEへ移動 JOCV(看護師)・JOCV(植林)の活動する農村見学 ファティックへ移動 SV・JOCV(稲作)の活動する農村見学 各村からダカールへ集合(3グループが合流)	ダカール
8月 7日	水	8:50 9:15 11:00 11:30 15:00 15:40	ホテル出発 専門家の活動現場訪問(2)(森林局:併設の苗畑見学) 往路乗船 ゴレ島視察(エリート女子高、奴隷の家、奴隷貿易博物館) ゴレ島にて昼食 復路乗船 ホテル着(書店にて資料購入、衣料店にて民族衣装等購入)	ダカール
8月 8日	木	9:00 11:00 14:30 19:00	教育省教育計画・改革局にて教育関係者との懇談会 ケルメル市場視察(ダカール市民の生活:生鮮食品の市場の様子) 昼食 専門家の活動現場視察(3)(医療従事者の養成機関) JICA主催 懇談会(専門家・JICA事務所員)	ダカール
8月 9日	金	午前 15:00 16:00 23:00	外国人学校の視察(小・中・高:サマースクール:バイリンガル) ダカール民芸村(教材等の購入) JICA事務所報告 日本大使館報告 ダカール発 (AF719)	機内
8月10日	土	6:25 13:15	パリ着 パリ発 (AF276)	
8月11日	日	7:45	成田空港着 解散	



氏名	所属学校	氏名	所属学校
おのでら とおる 小野寺 徹	北海道滝川高等学校	かざき ゆき 笠木 由希	新潟県立豊栄高等学校
ふじた まりこ 藤田真理子	室蘭大谷高等学校	さくち みちよ 菊池美千世	お茶の水女子大学附属高等学校
さの ひろみ 佐野比呂己	北海道釧路工業高等学校	こばやし ひろし 小林 浩	栃木県立宇都宮北高等学校
おの ひでお 小野 久雄	岩手県立久慈農林高等学校	あずま ひろみち 東 浩通	東京都立八潮高等学校
おやまだ りか 小山田里花	山形県立荒砥高等学校	やなぎ ゆみこ 柳 由美子	東京都立羽村高等学校
たむら じゅんこ 田村 純子	秋田県立十和田高等学校	いぶく たつや 伊福 龍哉	神奈川県立三崎高等学校
もり あいこ 森 愛子	福島県立本宮高等学校	はらわら しんひこ 関根 俊彦	星槎学園高等部青葉校
わたなべ えいいち 渡邊 英一	茨城県立東海高等学校		

(所属先は研修参加当時)

●同行者 塩谷正毅(JICA二本松)
笹館孝一(JICA新宿本部 緊急援助隊)

今回の研修で忘れられないのはゲホ村を訪れたことです。…2人の子どもを持つアイサさんが周りの手拍子の中、踊り始めました。そして、私たちに向かって一緒に踊ろうと手招きしてくれました。…この踊りの後、急速に村人と僕たちとの距離が縮まりました。心の垣根を乗り越えているということは同じ目線からの出発なのだとということを体験しました。

北海道滝川高等学校 小野寺 徹

初めて訪れたアフリカ・セネガルでの9日間は「見る」と「聞く」では大違いを実感させてくれた充実した研修でした。何よりも、教育に関わる一員として、「国は教育で作られる」ことを目のあたりにしました。途上国が国家予算の三分の一を教育費にかけ、人作りをしていることは、理解していたとはいえ、衝撃的でした。

室蘭大谷高等学校 藤田真理子

カネやモノの協力だけでは真の国際協力にはならない。もちろん発展途上国と言われる国ではカネやモノが不足しているのだから、それらが必要であることは十分に承知している。しかし、そこに人が介在し、心と心が現地の人々と深い絆で結ばれ、技術、知識、そして心が引き継がれるとき、カネやモノは初めて活かされるのだということがわかった。

北海道釧路工業高等学校 佐野比呂己

日本の平均的生活環境から考えればはるかに劣悪な環境でも生活できるタフな日本人の育成というメリットも、どんどん日本国民にアピールした方がいいのではないのでしょうか。…物を与えるODAよりも意識を育てるODAの方がより効果的だと思います。

岩手県立久慈農林高等学校 小野久雄

チョウウォール村で「環境の日」ということで、2時間の式典及び植林があった。…式典に関して、太鼓と手拍子とかけ声が前ぶれもなく起こり、にも関わらずすごく息が合っていて、感涙してしまった。その集団の和とつきあげるエネルギーがこの村(国?)の原動力かもしれないと感じた。

山形県立荒砥高等学校 小山田里花

どこへ行っても、「もっともっと日本からの援助を」との願いがありました。最初はもっともだと思っていましたが、度重なるにつれて、また現地の住民について考えが異なってきました。それは、いつになったら自立できるのだろうか?ということです。

秋田県立十和田高等学校 田村純子

自分の国を自分達で何とかしようと動き出して初めて、他国の物質的援助が生きるのかも知れないと感じた。路上で靴下を丸めたボールでサッカーをしていたストリートチルドレンの子どもの目の輝きを

思いながら、今後もセネガルという国に注目していきたい。
福島県立本宮高等学校 森 愛子

国際協力とは一部の技術と才能を持った人がするものであり、自分とは遠い世界のこととして捉えがちです。しかし、現場で活躍する人々が共通して持っていたものは「夢」でした。この夢を、思いを持つことの大切さを、生徒達に伝えたいと思います。

茨城県立東海高等学校 渡邊英一

専門家の方々のエキスパートとしての仕事ぶりにはプロとしての自信を感じました。しっかりとした技術を身に付けていればそれを活かして国外でも活躍の場があることを実感できました。

新潟県立豊栄高等学校 笠木由希

現場の隊員や専門家の方々の、協力活動への熱心で真摯な姿勢に感激した。また、古屋大使のお話にもあったが、日本の協力活動がセネガルにおいて高く評価されており、視察に行った私たちにもいろいろな要望が寄せられたことから、日本に対する期待の高さが窺われた。

お茶の水女子大学附属高等学校 菊池美千世

今後は現地の住民の自主性、自信、プライド等を育めるようなソフトの協力が今以上に大切になってくのではないのでしょうか。先進国の協力がなくても、最終的には自分達で自立していけるように指導して行く時期に入っているのではないのでしょうか。もっと奥深い所に大切なものが隠れているような気がします。

栃木県立宇都宮北高等学校 小林 浩

セネガルを通じた開発途上国の実状と協力活動の様子について、多面的に捉えることのできるプログラムが組まれたことで、充実した研修を行えました。特に農村体験では、見て、聞いて、体験して、農村部の人々の暮らしの様子の實際を深く理解することが出来ました。また、素朴な村人との交流は心温まるものがありました。

東京都立八潮高等学校 東 浩通

今回の研修を通して、教育がいかに重要であるかを改めて感じた。「資源のない日本が戦後これだけ発展した要因の一つは教育の徹底である。同じく資源のないセネガルも日本をお手本に、教育に力を入れたい」という話は印象的だった。

東京都立羽村高等学校 柳 由美子

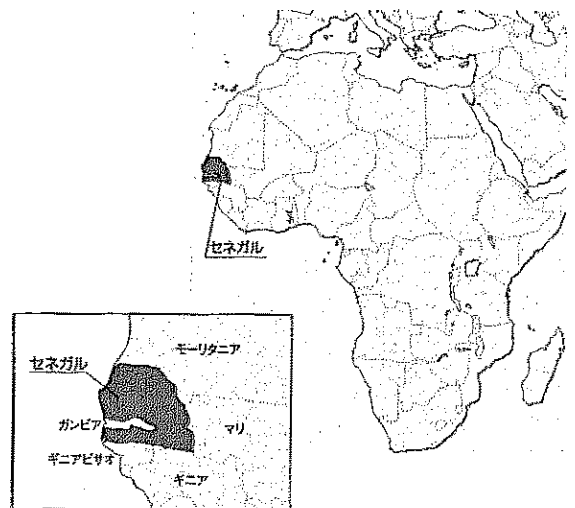
セネガルを知ることで、世界における「日本」を知ることが出来ました。セネガルという国を理解し、好きになりました。今後、自分がセネガルや開発教育のために、どのような活動ができるかを考えていきたいと思っています。

神奈川県立三崎高等学校 伊福龍哉

現場で活動されている人は、等身大で活動している。今あるものでできることを、相手を良く見て、相手のことを良く聞いて、理解して活動する姿勢が大変参考になった。

同行者からの刺激も大きい。日頃考えていること、感じていることを、研修のその日、その日の感想を交えて夕食の時などに話をする時間は、とても素晴らしいものでした。

星槎学園高等部青葉校 関根俊彦



コース別日程 / 参加者氏名

バングラデシュ Bangladesh

月日	曜日	時間	行 程	宿泊地
7月31日	水	11:00 15:30	成田発 (TG641) バンコク着	バンコク
8月 1日	木	11:25 12:50 14:00 17:30 18:00	バンコク発 (TG321) ダッカ着 ホテルチェックイン、日程等に係る打合せ ホテル出発 JICA 帰国研修員同窓会文化交流会参加	ダッカ
8月 2日	金	終日	市内見学 バザール (地図、図書の購入)、モスク、シャドルガット港見学後、川下り (学校、サリー縫製工場見学)	ダッカ
8月 3日	土	8:45 9:30 12:00	ホテル出発 現地高校視察、高校生、教師との意見交換 (Mohammadpur Government High School) BRACによるSchool for non formal education 視察 (NGOの運営する学校)	ダッカ
8月 4日	日	8:15 9:00 11:30 15:00 19:00	ホテル出発 リプロダクティブヘルス人材開発プロジェクト 私立高校視察、高校生、教師との意見交換 (Maple Leaf International school: English Medium) JICA事務所訪問 (事務所概要説明、教育分野専門家との意見交換) 協力隊員との夕食会	ダッカ
8月 5日	月	8:30 12:00 14:00 17:00	ホテル出発 マイメンシン着 Primary Training Institute初等教育訓練校 (JOCV理数科教師) Upozilla Resources Center +モデル小学校 (JOCV理数科教師) 帰国青年宅訪問 (Zilla school教師)	マイメンシン
8月 6日	火	9:00 12:30 16:00	現地高校視察、高校生、教師との意見交換 (Mymensingh Zilla School) マイメンシン発 Dhaka Physical College (JOCV体育隊員)	ダッカ
8月 7日	水	7:45 10:00	ホテル出発 住民参加型農村開発行政支援プロジェクト (タンガイル) ジャムナ橋 (有償資金協力) 視察後ダッカへ	ダッカ
8月 8日	木	10:00 13:00 14:00 16:00 19:00	大使館報告 エンジェル協会訪問 シャプラニール訪問 JICA事務所報告 事務所員及び教育、家畜、リプロダクティブヘルス等分野専門家との夕食会	ダッカ
8月 9日	金	11:00 14:00 17:20 23:10	ホテル発 ダッカ発 (TG322) バンコク着 バンコク発 (TG642)	機内
8月10日	土	7:30	成田着	

氏名	所属学校	氏名	所属学校
へいし びんご 貞治	石川県立飯田高等学校	しらい たかこ 孝子	三重県立松阪高等学校
やまもと まさゆみ 山本 雅文	福井県立高志高等学校	はた まさゆみ 秦 雅文	梅村学園三重高等学校
ながいり こういち 永池 幸一	長野県長野市立阜月高等学校	うちだ きよひこ 内田 清彦	大阪府立農芸高等学校
さんこた ひろあき 三小田 博昭	国立名古屋大学教育学部附属高等学校	えのちと けいこ 榎本 桂子	大阪府立北淀高等学校
いせがわ ひろこ 稲川 裕子	岐阜県立大垣西高等学校	よしかわ けんお 吉川 健治	奈良県立五條高等学校

●同行者 曾原肇(JICA大阪 総務部)

(所属先は研修参加当時)

奥村真紀子(JICA新宿本部 国内事業部 国内連携促進課)

ダッカ市内見学でスタートした全日程はどれもすばらしく、何も知識・情報の無い者がバングラデシュを理解するには、大変役に立ったように思う。バザールや寺院、サリー縫製工場をまず見学することによって人々の暮らしの様子がイメージされた。

石川県立飯田高等学校 瓶子貞治

様々な校種の学校に訪問できたことは良かった。しかし、ブラクの小学校以外は経済的に比較的裕福な家庭の子弟だと思えるところが多かったようだ。川下り・船での集落への訪問、バングラデシュの雨季の一面を垣間見られて良かった。またマイメンシンの高校の先生と1対1でのトークがじっくりできて良かった。

福井県立高志高等学校 山本雅文

バングラデシュの教育は、その基本が暗記教育であるため、自分で考えるという発想が少ない。特に低学年の子どもたちにその傾向が顕著であった。

長野市立阜月高等学校 永池幸一

国が自立するためには、目先の物資だけでは、何の役にもたないということがだんだんと分かり始めると同時に、ゼロからスタートしている協力隊や専門家の方々の終りない努力がよくわかりました。

国立名古屋大学教育学部附属高等学校 三小田博昭

住民参加型農村開発やリプロダクティブヘルス人材開発プロジェクトは、じっくり時間をかけベテランの成果が伺える。

岐阜県立大垣西高等学校 稲川裕子

協力活動をしている隊員の目が輝いている姿に感動しました。自分が「今後、どのように生きるべきか?」生き方を教えられた気がしました。しかし、隊員の多くが体に不調をきたした経験を何度も耳にして、辛く思いました。

三重県立松阪高等学校 白井孝子

どの協力活動も、単なる物的供与と技術援助だけではなく、バングラデシュの国民が自らの力で「持続可能で安定した社会を作り出すこと」を念頭においた活動でした。その国の実態や風土にあった援助でなければ生きた援助にならないこと、日本の援助活動が終っても、引き続き現地の人々が自らの手で努力を続けることができる援助でなくてはならないことも、この研修で学びました。

梅村学園三重高等学校 秦 雅文

教育現場での様々な実践の中、「国際理解教育」・「開発教育」をより理解されるような工夫を授業で展開すべきだと感じるとともに、自分自身もより広い視野で研修をしていかなければならないことに気がついた。

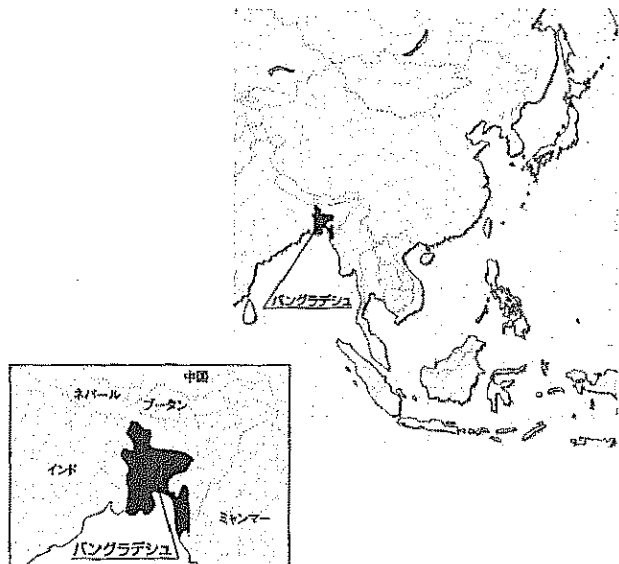
大阪府立農芸高等学校 内田清彦

バングラデシュについては、日本では一般的にまだ情報も少なく、私には「最貧国・災害・無秩序」というようなイメージしかなかったが、今回の視察を通して、この困難な状況の中で、それを何とか少しでも改善し、前進させていくために努力している人々がたくさんいるということを見ることができた。

大阪府立北淀高等学校 榎本桂子

この国では各専門家や協力隊員は、国の中枢部や教育の指導者を指導する立場で活躍されている人が多いということが意外でした。国の教育全部を丸ごと抱えて支援するという、壮大な支援のあり方は合理的でもありますし、真の国際援助の姿でもあると思いました。そしてそのためには、長い時間とお金、たゆまない努力が大切であると実感しました。

奈良県立五條高等学校 吉川健治



コース別日程／参加者氏名

メキシコ Mexico

月日	曜日	時間	行 程	宿泊地
7月31日	水	15:50 13:45	成田発 (CO-006) ヒューストン着	アメリカ
8月 1日	木	9:15 11:28 15:45 16:00	ヒューストン発 (CO-1224) メキシコ・シティ着 ホテルへ移動、昼食 ホテル出発 JICA事務所訪問 - メキシコにおけるJICA事業概要説明、任国事情、オリエンテーション等	メキシコシティ
8月 2日	金	8:40 9:00 11:30 16:00	ホテル出発 開発福祉支援事業「ストリートチルドレンの性の健康」 専門家(保健・健康教育) JOCV(青少年活動) - カーサ・アリアンサの活動紹介、専門家・隊員の活動状況視察・意見交換 - 施設の子供達との交流等 メキシコ国際協力庁(IMEXCI) - クリスティーナ・ルイス部長表敬、日墨技術協力概要説明 チーム派遣「南南協力提供能力強化計画」 専門家(国際協力政策・三角協力) 専門家(国際協力システム) - 南南協力とは? プロジェクト及び専門家の活動概要 専門家(廃棄物処理) - 専門家の活動、メキシコシティにおける廃棄物処理状況、廃棄物処理場の視察	メキシコシティ
8月 3日	土	9:30	ホテル出発 市内(ソカロ、中央政府、三文化広場)及びテオティワカン遺跡見学	メキシコシティ
8月 4日	日	7:00 15:00	ホテル出発 ⇒ベラクルス州ハラバへ移動(陸路) シニアボランティア(博物館) - ボランティアの活動状況視察、ベラクルス人類学博物館視察	ベラクルス州 ハラバ
8月 5日	月		ベラクルス州コサウトラン JOCV(陶磁器) - 隊員の活動状況視察、近郊農村の視察	ハラバ
8月 6日	火	9:00 11:00	ベラクルス州ハラバ JOCV(看護師) - 隊員の活動状況、Dr. Luis Nachón市民病院視察 「女性の健康プロジェクト」 - プロジェクトの活動状況視察 昼食 ⇒メキシコ・シティへ移動(陸路)	メキシコシティ
8月 7日	水	9:30 10:00 16:30	ホテル出発 遠隔地教育の現状視察(教育テレビ研修センター訪問) 日本メキシコ学院視察 - 同学院における教育事情等説明、意見交換等	メキシコシティ
8月 8日	木	9:00 10:00 17:30 19:00	ホテル発 アカテイトラン学院(現地私立高校)訪問 - 授業参観(テーマ:メキシコ革命)、模擬授業の実施 昼食 研修報告会(JICA事務所会議室) 事務所主催懇親会(JICA事務所会議室)	メキシコシティ
8月 9日	金	4:30 7:08 9:27 10:50	ホテル出発 メキシコ・シティ発 (CO-1025) ヒューストン着 ヒューストン発 (CO-007)	機内
8月10日	土	14:20	成田着	

氏名	所属学校	氏名	所属学校
ふじた のひろ 藤田 憲弘	広島県立福山工業高等学校	さかぐち かなこ 坂口佳奈子	鹿児島県立出水高等学校
いぬかい しげる 犬飼 繁	岡山県立倉敷工業高等学校	いづもと よしのり 岩本 儀則	鶴鳴学園長崎女子高等学校
ひらた ゆたか 平田 豊	愛媛県立小松高等学校	のむら ひろみ 野村 浩美	熊本県立大矢野高等学校
みつまさ ともしち 三巻 知一	宮崎県立小林工業高等学校	ふるかわ まさよ 古川 雅代	福岡県立北筑高等学校
わかさ けんや 若狭 謙哉	福岡県立三井高等学校	たまき 薫 玉城 薫	沖縄県立北山高等学校

●同行者 村田俊一(JICA沖縄 業務課)

(所属先は研修参加当時)

「地域とのつながり方」という点では、別に海外に限ったことではなく、我々の学校現場でも、同じようなことはいえると思います。地域の人々との信頼関係を築くために、自分たちの足元も見直さなくてはと、感じました。

広島県立福山工業高等学校 藤田憲弘

メキシコではきちんとした専門知識がないまま看護婦になっている人が60%もいるという。経験だけでやってきたのだろうが、そうした看護婦への指導などなかなか大変なことだろうと察した。「メキシコの人たちは外国人に対して親切で、何かと気にかけてくれて話しかけてくれるので頑張れる。」という彼女の言葉が印象的だった。

岡山県立倉敷工業高等学校 犬飼 繁

現地の協力隊や専門員が仕事をするにあたっての問題解決能力の高さとその意欲に驚いた。現在の日本の教育は問題解決能力を鍛えるよりは、知識をどの程度集約的に頭にたたき込み、うまく(試験で)出せるかを鍛えていると感じる。これからは生徒が問題を解決する能力も鍛えるという視点を常に意識して教育活動を進めたい。

愛媛県立小松高等学校 平田 豊

地域・貧富の格差是正のために日夜頑張っている人々がいるということを知った。ただそれぞれのプロジェクトのかかえる深刻な課題、現状に終始圧倒されるばかりで言葉にもならないくらいだ。しかし、どの隊員の表情も明るかった。気負いも無ければ、悲壮感も無い。何かをしてやっているのだという傲慢さもなく、ただ地域の人々に溶け込み共に歩むといった感じだ。

宮崎県立小林工業高等学校 三巻知一

今回はスペイン語圏という話が通じない中、意思伝達をしなければならぬ場面の多くで、気持ちに前に出ないで、腰が引けている自分を発見したのは想像外であった。この弱腰の自分を見つけたのがショックであったが、言葉の重要性とともに、言葉を超えたコミュニケーションへの意志とは何かを再考する契機となった。

福岡県立三井高等学校 若狭謙哉

現場を視察する前は、外国人である日本人が指導者・助言者のような立場で現地に入ると、メキシコ人の心情としては良くない感情が生まれるのではないかと危惧していたが、実際に現場を見るとそのような考えは払拭された。顔と顔が見える活動では、言葉がなくても心は充分伝わっていると思った。物・金より「人」の大切さを改めて実感した。

鹿児島県立出水高等学校 坂口佳奈子

実際、協力隊の情報はある程度あるものの、現地では本当に役に立っているのかという疑問は出発前にあった。形だけのものではないのかと。ところがストリートチルドレンのための施設で働く北村さんの活動を見てると子どもたちの中に直接入っており、現場の大変さと現実の難しさを感じた。

鶴鳴学園長崎女子高等学校 岩本儀則

研修中、また帰国してから研修を振り返ってみて、「自分を大切にすること」が私の中でのキーワードとなった。おそらく大人を信じられなくなっている路上生活の子ども達が、北村さん達のプロジェクトによって心を開き、カサ・アリアンサにやってくる。…自分を大切にしてくれる人がいることに気づくと、自分自身を大切にすることができる。自分を大切にできる人は、他人も大切にできるようになる。…そんな論理が自分の中に芽生えた。

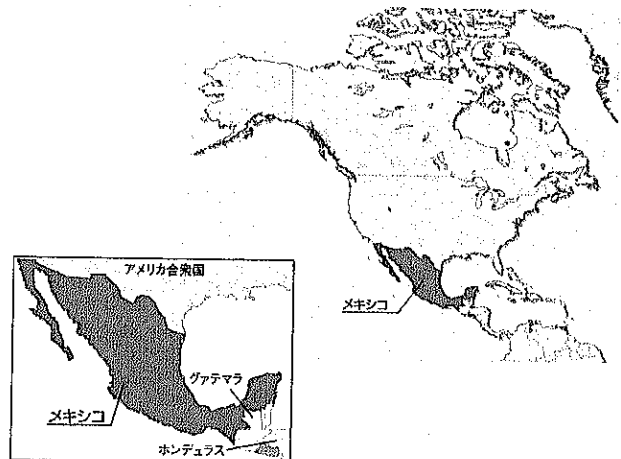
熊本県立大矢野高等学校 野村浩美

学校の忙しさに追われる日々を送っていた自分にとって、とても新鮮で癒しのある刺激的な研修でした。自分自身に迷いもあり参加した研修でしたが、自分に足りないものに気付く事が出来たような気がします。研修で自分が知った事感じた事をきちんと消化して生徒達に伝えたいと思います。実体験を通した私の話はきっと説得力を持てるのではないかと思います。

福岡県立北筑高等学校 古川雅代

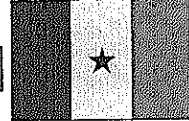
それぞれの隊員が一生懸命にメキシコの方々と力を合わせ活動する姿、生活をしている姿にこの活動の素晴らしさと大切さを感じた。私たち教師は日頃生徒と多くの時間を過ごし、勉強だけでなく、生活面や精神的な面でも多くの関わりが出てくる。その時私はどのように生徒と接していたであろうか、人間として彼らに向き合っていたであろうか。協力隊員の現地の人々と接する姿を見て、自分自身を見つめ直す良い機会となった。

沖縄県立北山高等学校 玉城薫



訪問国概要

セネガル共和国 (Republic of Senegal)



1. 概要

面積	197,161km ² (日本の約半分)
人口	950万人 (2000年)
首都	ダカール (人口約200万人)
人種	ウォロフ44%、ブル23%、セレール15%他
言語	フランス語 (公用語)、ウォロフ語など各民族語
宗教	イスラム教95%、キリスト教5%、伝統的宗教

2. 経済 (単位:米ドル)

主要産業	農業 (落花生、粟、棉花)、漁業 (まぐろ、かつお、えび、たこ)、鉱工業 (燐鉱石、食品加工)
GNI	47億米ドル (2001年)
一人当たりGNI	490米ドル (2001年)
経済成長率	5.7% (2001年)
物価上昇率	0.7% (2000年)
失業率	不明
総貿易額 (2000年)	(1) 輸出 997百万ドル (2) 輸入 1,338百万ドル
主要貿易品目 (1999年)	(1) 輸出 魚介類、燐鉱石・肥料、落花生製品 (2) 輸入 食料品、投資材、石油製品
貿易相手国 (2000年)	(1) 輸出 インド、フランス、イタリア、マリ (2) 輸入 フランス、ナイジェリア、タイ、イタリア
通貨	CFAフラン
為替レート	655.9CFAフラン=1ユーロ (固定レート)
経済関係	<p>経済は、落花生栽培などの農業が中心で、一次産品価格の低迷などにより、財政赤字、国際収支赤字、対外債務問題が恒常化している。このような状況の中で、1994年1月のCFAフラン切り下げ以降、政府が緊縮財政、構造調整、民営化などに努力した結果、経済は上向き、経済成長率は高水準で安定 (1995-2001年にかけて5%台)、物価上昇率も抑制されている (2000年0.7%)。その一方で、構造調整の影響として失業の増加、都市部への人口の集中、貧富の差の拡大等による社会不安も増大しており、失業、貧困対策や経済の多様化が今後の課題となっている。</p> <p>また、セネガル政府は、2015年までに貧困を半減させることを目標に、2000年に中間「貧困削減戦略文書」(PRSP)を採択し、2002年には最終版PRSPを策定した。</p>

3. 経済協力 (単位:億円)

我が国の援助実績	(1) 有償資金協力 (2002年度まで、ENベース) 178.84 (2) 無償資金協力 (2002年度まで、ENベース) 832 (3) 技術協力実績 (2002年度まで、JICAベース) 208.82
主要援助国 (2000年、単位:百万ドル)	(1) フランス (147.2) (2) 日本 (48.5) (3) 米国 (22.9) (4) ドイツ (16.8)

バングラデシュ人民共和国 (People's Republic of Bangladesh)



1. 概要

面積	14万4千km ²
人口	1億2,925万人、人口増加率：1.48% (2001年、バングラデシュ統計局)
首都	ダッカ
人種	ベンガル人が大部分を占める
言語	ベンガル語 (国語)、成人識字率：48.7% (1998年、政府統計局)
宗教	イスラム教徒88.1%、ヒンズー教徒10.5%、仏教徒0.6%、キリスト教徒0.3% (1991年国勢調査)

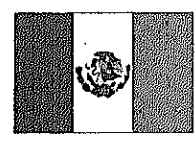
2. 経済 (単位：米ドル)

主要産業	農業、縫製品・ニット製品産業、水産業、ジュート加工業
GDP	51,897百万ドル (02/03年)
一人当たりGDP	389 (02/03年)
経済成長率 (GDP)	5.2% (02/03年)
物価上昇率	5.14% (02/03年)
総貿易額 (01/02年)	(1) 輸出 5,986百万ドル (2) 輸入 7,697百万ドル
主要貿易品目 (97/98年)	(1) 輸出 縫製品・ニット製品、冷凍エビ、ジュート製品、皮革、運動用具 (2) 輸入 資本財、繊維、原油・石油製品、鉄鋼、一般機械、自動車
主要貿易相手国 (01/02年)	(1) 輸出 米国、ドイツ、英国、フランス、オランダ、イタリア (日本11位) (2) 輸入 インド、シンガポール、中国、日本、韓国、台湾 (日本4位)
通貨	タカ
為替レート	1米ドル=58.7タカ (03年3月)
経済関係	(1) 2003年7月、バングラデシュ民族主義党(BNP)を中心とした4党連合政権にとって2度目の国家予算となる03/04年度バングラデシュ国家予算(03年7月~04年6月)は、貧困削減と経済成長(pro-poor growth)を基本に譲り、大幅な税制改革による歳入増加を見込む拡張型のものとなった。2003年5月にダッカで行われた「バングラデシュ開発フォーラム」では、ドナー側からも政府の諸改革への一定の評価が示され、また「暫定版貧困削減戦略ペーパー(IPRSP)」が6月末の世銀・IMFの理事会で承認されたことを受け、今後3年間で世銀は536百万ドル、IMFは490百万ドルの支援を約束した。 (2) 懸念されたイラクでの戦争やSARSも同国経済に大きな影響を与えることなく、02/03年度のGDP成長率は昨年度(4.4%)から回復し再び上昇すると予想(5.2%)されている。 (3) 2004年末をもって多国間繊維協定(MFA)が終了し、MFAの輸出割当(クォータ)制度の下で、現在バングラデシュが享受している欧米市場における比較優位が失われることへの対策としては、今年度予算で法人税の軽減などの優遇措置がいくつか打ち出されたが、輸出の約75%を占める縫製業の競争力強化、また縫製業に代わる新たな輸出産業育成等は引き続き大きな課題である。

3. 経済協力 (単位：億円)

我が国の援助実績 (合計307.15) (ODA白書)	(1) 有償資金協力 (02年、ENベース) 92.09 (2) 無償資金協力 () 203.78 (3) 技術協力実績 (02年、JICAの経費ベース) 19.4
DAC内主要援助国 (2002年) (ODA白書)	(1) 日本 (2) 英国 (3) 米国 (4) オランダ (5) デンマーク

メキシコ合衆国 (United Mexican States)



1. 概要

面積	197万km ² (日本の5.3倍)
人口	1億320万人 (2002年国勢調査)
首都	メキシコ・シティー
人種	ヨーロッパ系 (スペイン系等) (15%)、ヨーロッパ系と先住民の混血 (60%)、先住民 (25%)
言語	スペイン語
宗教	カトリック (国民の約9割)

2. 経済 (単位:米ドル)

主要産業 (2000年)	農林水産業4.0%、鉱業1.3%、製造業18.2%、建設4.5%、電気・ガス・水道1.2%、商業・ホテル・飲食19.3%、運輸・倉庫・通信10.4%、金融・不動産11.8%、その他サービス29.8%
GDP (億ドル)	6,153 (2002年)
一人当りGDP (ドル)	6,312 (2002年)
経済成長率	0.9%
物価上昇率	5.7%
失業率 (都市部)	2.7%
総貿易額 (2002年)	(1) 輸出 1,607億ドル (2) 輸入 1,687億ドル
主要貿易品目 (97/98年)	(1) 日本の主要輸出品目 一般機械、電気機械、鉄鋼、自動車部品 (2) 日本の主要輸入品目 原油、豚肉、銀地金、綿花、かぼちゃ
主要貿易相手国	米国、カナダが全貿易の8割を占める。
通貨	ペソ
為替レート	1ドル=約11.2ペソ (03年12月)
経済関係	(1) メキシコは90年代前半にAPEC加盟 (93年)、NAFTA発効 (94年)、OECD加盟 (同年) を実現、経済安定を回復。94年12月に通貨危機が発生。その後、深刻なリセッションを経験するも、危機を境に生じたペソ安により貿易収支が黒字に転化。GDP成長率も96、97年は5%超の高成長を記録。99年及び2000年には、好調な米国経済と石油価格高騰を背景に輸出が拡大、国内経済も好調を維持した。 (2) フォックス政権下での経済状況 経済面では全般的に安定したマクロ経済を維持している。2001年は米国経済の景気後退を受け、経済成長率は▲0.3%であった。2002年には政府見通し (1.8%) を下回ったものの、0.9%とプラス成長に転じた。2003年には、輸出の伸び悩みや設備投資の低迷等により経済成長率は伸び悩み、1.5%の見込み。2004年の経済成長率の政府見通しは3.1%。

3. 経済協力 (単位:億円)

我が国の援助実績	(イ) 有償資金協力 (00年度までの累計供与額 2,364.53億円) (ロ) 無償資金協力 (00年度までの累計供与額 50.38億円) (ハ) 技術協力 (00年度までの累計 506.54億円)
DAC内主要援助国 (1998年) (ODA白書)	(1) スペイン (2) ドイツ (3) フランス (4) 米国 (5) 英国

開発教育関係団体及び教材紹介

開発教育や開発問題について、もっと詳しく知りたい方々のために、開発教育を実施している団体や、役立ちそうな教材／素材をリストアップしてみました。JICA刊行のものは、国内機関にお問い合わせください。

開発教育関係団体 ①セミナー開催 ②講師の派遣 ③資料の収集・開発・提供 ④スタディーツアー ⑤機関誌の刊行 ⑥その他

(特活)国際協力NGOセンター (JANIC)

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町2-9-1
斉藤ビル5階
TEL 03 (3294) 5370
FAX 03 (3294) 5398
URL
<http://www.janic.org/>
①～③、⑤、
⑥NGO市民情報センター

(特活)名古屋NGOセンター

〒450-0003
愛知県名古屋市中村区名駅南1-20-11
NPOプラザ3階北
TEL 052 (588) 3680
FAX 052 (588) 3680
URL <http://www.sf21npo.gr.jp/~ngo/>
①～⑤

(特活)関西NGO協議会

〒530-0013
大阪府大阪市北区茶屋町2-30
TEL 06 (6377) 5144
FAX 06 (6377) 5148
URL <http://park15.wakwak.com/~knc/>
①～③、⑤、
⑥関西NGO大学

(特活)開発教育協会

〒112-0002
東京都文京区小石川2-17-41 3階
TEL 03 (5844) 3630
FAX 03 (3818) 5940
URL <http://www.dear.or.jp/>
①～③、⑤、
⑥開発教育情報センター

(特活)国際理解教育センター (ERIC)

〒114-0013
東京都北区東田端1-14-1
岩瀬ビル
TEL 03 (3800) 9415
FAX 03 (3800) 9414
URL <http://www.try-net.or.jp/~eric-net/>
①～⑤、
⑥施設利用、カリキュラム開発など

(特活)シャプレーニール＝市民 による海外協力の会

〒169-8611
東京都新宿区西早稲田2-3-1
早稲田奉仕園内
TEL 03 (3202) 7863
FAX 03 (3202) 4593
URL <http://www.shaplaneer.org/>
①～⑤、⑥バングラデシュ・ネパールの
手工芸品輸入販売

(社)シャンティ 国際ボランティア会 (SVA)

〒160-0015
東京都新宿区大京町31
慈母会館2・3F
TEL 03 (5360) 1233
FAX 03 (5360) 1220
URL <http://www.jca.apc.org/sva/>
①～⑤、⑥図書館

(財)国際協力推進協会 (APIC)

〒112-0012
東京都文京区大塚5-3-13
小石川アーバンビル8F
TEL 03 (3947) 2491
FAX 03 (3947) 4491
URL <http://www.apic.or.jp/plaza/>
①～③、
⑥国際協力プラザ

(社)協力隊を育てる会

〒160-0013
東京都新宿区霞丘15
日本青年館内
TEL 03 (3402) 2153
FAX 03 (3402) 3263
①～③、⑤、
⑥小さなハートプロジェクト
URL <http://www.sojocv.or.jp/>

(社)青年海外協力協会

〒150-0012
東京都渋谷区広尾4-2-24
広尾訓練研修センター内
TEL 03 (3406) 9151
FAX 03 (3406) 9160
URL <http://www.joca.or.jp/>
①～③、⑤

(財)日本ユニセフ協会 (ユニセフ日本委員会)

〒108-8607
東京都港区高輪4-6-12
ユニセフハウス
TEL 03 (5789) 2013
FAX 03 (5789) 2033
URL <http://www.unicef.or.jp>
①～③、
⑥図書館

(社)日本ユネスコ協会連盟

〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿1-3-1
朝日生命恵比寿ビル12階
TEL 03 (5424) 1121
FAX 03 (5424) 1126
URL <http://www.unesco.or.jp/>
①～⑤

桜井・法貴グローバル教育研究所

〒181-0003
東京都三鷹市北野4-2-26-104
TEL・FAX 03 (5313) 1995
①～⑤

開発教育教材

開発教育ブックレットシリーズ1 「開発教育」ってなあに?



資料
冊子

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03 (5844) 3630
定価：¥525 発行：1998年

開発教育についての取り組みをわかりやすく紹介した入門書的な小冊子。

開発教育ブックレットシリーズ4 つながれ開発教育 ～学校と地域のパートナーシップ事例集～



資料
冊子

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03 (5844) 3630
定価：¥1,050 発行：2001年

学校と地域が様々な形でパートナーシップをとりながら、地球的視野に立つ教育（開発教育や国際理解教育）に取り組んでいる国内外14の事例を紹介しつつ、パートナーシップのあり方や今後の課題を明らかにしている。

開発教育ブックレットシリーズ5 開発教育キーワード51



資料
冊子

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03 (5844) 3630
定価：¥1,575 発行：2002年

開発問題・開発教育・国際理解に関する基本用語を明確にし、それぞれの関連性を整理した用語集

新しい開発教育の すすめ方



資料
冊子

編集：開発教育推進セミナー編
発行・問い合わせ先：古今書院
TEL 03 (3291) 2757
定価：¥2,400+税 発行：1999年

テーマごとに模擬授業を紹介した、教師や社会教育現場で新しい開発教育に取り組む指導者のための参考資料。

新しい開発教育の すすめ方Ⅱ「難民」 ～未来を感じる総合学習～



資料
冊子

編集：開発教育研究会編・著
問い合わせ先：古今書院
TEL 03 (3291) 2757
定価：¥1,800+税 発行：2000年

「総合学習」の中で、「難民」を切り口にして、人権・平和・開発・共生・参加・未来等について、気づき、共感し、考え、そして態度を形成したり行動を起こしていく手助けとなることを目的に作成されている。

開発教育教材シリーズ2 いい貿易って何だろう ～一杯のコーヒーから考える世界の貿易～



資料
冊子

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03 (5844) 3630
定価：¥630 発行：1999年

身近なコーヒーを題材として生産国の現状と世界の流通の仕組みを理解することを目的とした、そのまま授業に生かせる教材。

開発教育教材シリーズ4 新・貿易ゲーム ～経済のグローバル化を 考える～



資料
冊子

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03 (5844) 3630
定価：¥840 発行：2001年

「貿易」を中心に、世界経済の動きを擬似体験することによって、そこに存在するさまざまな問題について学び、その解決の道について考えることを目的としたシミュレーションゲーム

開発教育教材シリーズ5 パーム油のはなし ～「地球にやさしい」って なんだろう?～



資料
冊子

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03 (5844) 3630
定価：¥1,890 発行：2002年

対象：中学生以上
ポテトチップス、チョコレート、カップラーメン、アイスクリームなどの原料になっているパーム油を通して、生産国で起こっている問題を知り、その問題の構造を理解し、さらに私たちの消費社会とのつながりを理解し、何ができるかを考えることをねらいとしている。

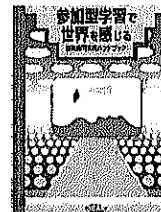
開発教育実践の手引き



資料
冊子

問い合わせ先：国際協力推進協会
TEL 03 (3947) 0491
定価：¥1,019 発行：1993年
開発教育の実践例や海外での開発教育の事情を紹介。

参加型学習で世界を 感じる一開発教育実践 ハンドブック



資料
冊子

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03 (5844) 3630
定価：¥2,100 発行：2003年

この一冊で開発教育の手法と学習プログラムとが学べる実践ハンドブック。参加型学習の基本的な手法（アクティビティ）や事例を紹介するほか、開発教育を「総合的な学習」の時間などで扱うための学習プログラムと教材を12のテーマでまとめている。大好評の既刊「いきいき開発教育」「わくわく開発教育」を一冊にまとめたもの。

持続可能な開発のための 学び 別冊「開発教育」



資料
冊子

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03 (5844) 3630
定価：¥1,200 発行：2003年

「持続可能な開発のための教育」とはどのような教育なのか、持続可能な社会をつくるためにどのような実践が求められているのかを考察するとともに、地域での学びの実践の事例も紹介。2005年からはじまる「国連・持続可能な開発のための教育の10年」に向け、理論と実践をまとめたハンドブック。

たずねてみよう！カレーの世界～スパイスと食文化の多様性～(改訂版)



資料
冊子

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価：¥1,260 発行：2003年
子どもたちの大好きなカレーを素材として、カレーに用いられるスパイスの種類や効用の多様性を知り、さらにアジアの様々なカレーから見える各地域の食文化の多様性に気づくことをねらいとした参加型教材。初版発行後、実践者からの声を反映した改訂版。

ワークショップ版
世界がもし100人の村だったら



資料
冊子

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価：¥1,260 発行：2003年
ベストセラーになった絵本「世界がもし100人の村だったら」(マガジンハウス刊)の参加型教材。世界の格差と多様性をわかりやすく体験できる。開発教育や国際理解への導入に最適。

もっと話そう！平和を築くためにできること—平和を築く学習キャンペーン資料集



資料
冊子

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価：¥1,260 発行：2003年
戦争や紛争の原因を深く掘り下げ、平和を築くために一人ひとりができることを考えるためのアクティビティのヒントを多数紹介。授業はもちろん、市民グループの集まりなど様々な場面で使える。

—教室と世界をつなぐ—
開発教育教材カタログ2003



資料
冊子

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
定価：¥1,575 発行：2003年
1995年以降に制作・発行された国内外の開発教育教材約150点を収録した教材カタログ。開発や環境、国際理解、国際協力などのテーマを扱うグローバルな視点をもった教材を収集し、体系的に整理している。

NEWマジカル・バナナ



資料
冊子

問い合わせ先：(特活)地球の木
TEL 045(228)1575
定価：¥1,500 発行：2003年
私たちが食べているバナナがどこから来ているのか、どのような人たちがつくっているのか、またさらに私たちの食生活が世界の構造にどう関わっているのか、問題意識をもってもらう教材。クイズやカードゲーム、ロールプレイ、ランキングのほかにフォトランゲージや付録バナナものがたりが新たに加わった改訂版。対象者や時間に応じて組替えて活用できる。

わーい！外国人が教室にやってきた！！学校と地域がつくる国際理解教育—教員ワークショップ報告書2002



資料
冊子

問い合わせ先：(財)武蔵野市国際交流協会
TEL 0422(36)4511
定価：¥800 発行：2002年
「学校と地域がつくる国際理解教育」というテーマで、武蔵野市の国際理解教育の実践報告書として、主に地域の外国人との協働に焦点を絞ってまとめられている。地域との連携で国際教育にとりくもうとしているすべての方々にとって参考になるであろう一冊。

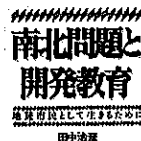
わーい！NGOが教室にやってきた！学校と地域がつくる国際理解教育—教員ワークショップ報告書2003



資料
冊子

問い合わせ先：(財)武蔵野市国際交流協会
TEL 0422(36)4511
定価：¥800 発行：2003年
「わーい！シリーズ」第2弾。「学校と地域がつくる国際理解教育」というテーマのもと、特に「NGOとの協働での授業作り」に焦点を絞った実践研究報告書。

南北問題と開発教育



資料
書籍

問い合わせ先：田中治彦 著 亜紀書房 発行
TEL 03(5280)0261
定価：¥1,845+税 発行：1994年
開発教育の中心的課題である南北問題と国際協力、そして開発教育の理論と実践について解説。実践教材や実践事例も掲載されている。

ユニセフの開発のための教育

地球市民を育てるための実践ガイドブック

資料
書籍

問い合わせ先：(財)日本ユニセフ協会
TEL 03(3355)3224
定価：¥100 発行：1998年
参加型の体験学習の例を分かりやすく紹介したガイドブック

ユニセフによる地球学習の手引き

～新しい視点に立った国際理解教育(小学校、中学校)～

有料 書籍

問い合わせ先: 教育出版
TEL 03(3238)6965
定価: ¥2,200+税 発行: 1997年
国際児童基金による「ユニセフによる地球学習の手引き」に、日本の小・中学校での実践事例を加えたもの。

フードファーストカリキュラム ～食べ物を通して世界を見つめよう～

有料 書籍

問い合わせ先: ERIC
TEL 03(3800)9415
定価: ¥2,625 発行: 1993年
身の回りの「食」を通して世界とのつながりを説明した本

国際理解教育

有料 書籍



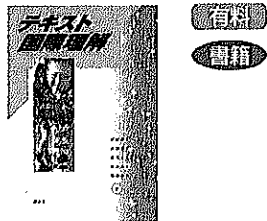
問い合わせ先: 清水書院
TEL 03(3280)5261
定価: ¥1,800+税 発行: 1999年
「総合学習の時間」導入に向けて異文化理解、国際協力、自然環境などのテーマを現場の教師が取り組んだ実践事例集。

国際理解教育 地球市民を育てる授業と構想



問い合わせ先: 国土社
TEL 03(3943)3721
定価: ¥2,200+税 発行: 1992年
地球環境や貿易、マイノリティなどのテーマから授業を組み立てられる題材を提供。

テキスト国際理解



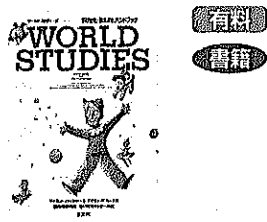
問い合わせ先: 国土社
TEL 03(3943)3721
定価: ¥2,000+税 発行: 1997年
基本的な概念、理論的な枠組、アプローチの仕方を提示し、実践に役立つ具体例を盛り込み、教材として利用できるようにまとめたもの。

国際理解 重要用語300の基礎知識



問い合わせ先: 明治図書出版
TEL 03(3946)3151
定価: ¥2,660+税 発行: 2000年
国際理解教育を広義にとらえ、できるだけ広い分野から項目を選び、解説を加えた用語集。読みやすく1項目1ページとし関連の深い項目を前後に配置するなど工夫をしている。

ワールドスタディーズ ～学び方・教え方ハンドブック～



問い合わせ先: ERIC
TEL 03(3800)9415
定価: ¥2,500+税 発行: 1991年
国際理解教育のさまざまな事例を説明した本。

地球市民教育のすすめがた ワールド・スタディーズ ワークブック



問い合わせ先: 明石書店
TEL 03(5818)1171
定価: ¥2,500+税 発行: 1997年
参加型学習の実践事例集。「森林」「アボリジニー」「ジェンダー」などテーマごとにアクティビティを紹介。参考文献リストも収録されている。

あなたもできる 国際ボランティア

有料 書籍

問い合わせ先: ジャパンタイムズ
定価: ¥1,800+税 発行: 1996年
ボランティア体験談、団体紹介、講座案内など、国際ボランティアへのさまざまな関わり方を紹介。国際ボランティアに興味のある人のための入門マニュアル。

開発教育のすすめ 南北 共生時代の国際理解教育

有料 書籍

問い合わせ先: かもか出版
TEL 075(432)2868
定価: ¥1,942+税 発行: 1996年
偏った国際化ではなくバランスのとれた世界認識を育てるための地理、歴史教育を実践している著者が、開発教育をわかりやすく解説。

学習の転換 新しい「学び」の場の創造

有料 書籍

問い合わせ先: 国土社
TEL 03(3943)3721
定価: ¥2,400+税 発行: 1997年
グローバル教育の提唱者の一人、D.セルビー氏によるワークショップや日本の学校・地域で行われている参加型授業などを紹介。「新しい「学びの場」のあり方を問う。

地球市民を育む学習 -Global teacher, Global learner-

有料 書籍

問い合わせ先: 明石書店
TEL 03(5818)1171
定価: ¥3,300+税 発行: 1997年
地域、国土、そこに暮らす人びと、社会・文化・自然現象、そして過去・未来・現在の相互関連、そして知性・感情・精神の相互補完的な関係性を述べた上で、学習者を中心に据え、体験的、相互的、民主主義的、参加型、包括的かつ変革思考の学習アプローチを提唱している。アクティビティも多く紹介されている。

アジアの子ども

有料 書籍

問い合わせ先: 明石書店
TEL 03(5818)1171
定価: ¥1,553+税 発行: 1994年
アジア各国の状況を、絵や図を使って紹介する子ども向け教材。

国際協力用語集 第3版

有料 書籍



問い合わせ先: 国際開発ジャーナル社
TEL 03(3584)2191
定価: ¥3,000+税
国際協力を携わる方から初心者まで幅広く国際協力関連用語の解説書。

国際協力ガイド2005

有料 書籍



問い合わせ先: 国際開発ジャーナル社
TEL 03(3584)2191
定価: ¥1,200+税
「仕事する」「参加する」「学ぶ」の3章で、国際協力を携わりたい人たちへ手がかりを提供する情報誌。

**世界の子どもたち
-NGOの現場から-**



有料
書籍

問い合わせ先: 明石書店
TEL 03(5818)1171
定価: ¥1,000+税 発行: 2002年
日本の子どもたちが開発途上国の現状を学ぶとき、その過酷な状況だけでなく、彼らが人間として持つ「豊かさ」にも目を向けて欲しいという思いが込められた一冊。フィリピン、インドネシア、インド、ジンバブエ、セネガル、ボリビアの詳細な情報や授業ですぐに取り入れられる実践方法も紹介されている。

世界の開発教育-教師のためのグローバルカリキュラム



有料
書籍

問い合わせ先: 明石書店
TEL 03(5818)1171
定価: ¥2,800+税 発行: 2002年
英国の Development Education-Global Perspective in the curriculum* (1994)の邦訳。60年代以降の開発教育の軌跡と今後の課題をまとめた報告書的な一冊。

**総合学習を学びの広
場に
-手づくりと協働の知恵-**



有料
書籍

問い合わせ先: 大月書店
TEL 03(3813)4651
定価: ¥2,200+税 発行: 2000年
「総合的な学習の時間」をきっかけに、学校を手作りと協働という新しい学びの広場とし、教育の文化を豊かにしていくための40の知恵が記されている。

地球買い物白書



有料
書籍

問い合わせ先: コモンズ
TEL 03(5386)6972
定価: ¥1,300+税 発行: 2003年
身近な商品は、どこで作られ、どうやって私たちの食卓や生活にやってくるのか。環境や人びとにどんな影響を与えているのか。そして、私たちに何ができるのかを考える一冊。総合学習に最適。

**国際理解ハンドブック・シリーズ
「中国と出会おう」**



有料
書籍

問い合わせ先: 国土社
TEL 03(5348)3710
定価: ¥1,600+税 発行: 2000年
中国語で話して歌って遊ぶ。作って食べて、お話を読んでみよう。体験を通して異文化にふれ、違いを認めあう国際理解のための本。

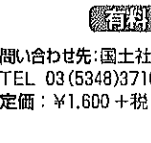
**国際理解ハンドブック・シリーズ
「フィリピンと出会おう」**



有料
書籍

問い合わせ先: 国土社
TEL 03(5348)3710
定価: ¥1,600+税 発行: 2002年
フィリピンの食べ物や遊び、言葉、歌などを楽しいイラストと文章で紹介。フィリピンの歴史や日本との関わり、在日フィリピン人の現状など、読み物も充実。

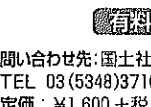
**国際理解ハンドブック・シリーズ
「韓国・朝鮮と出会おう」**



有料
書籍

問い合わせ先: 国土社
TEL 03(5348)3710
定価: ¥1,600+税 発行: 1999年

**国際理解ハンドブック・シリーズ
「ブラジルと出会おう」**



有料
書籍

問い合わせ先: 国土社
TEL 03(5348)3710
定価: ¥1,600+税 発行: 200年

国際開発ジャーナル



有料
定期
刊行物

問い合わせ先: 国際開発ジャーナル社
TEL 03(3584)2191
定価: ¥850

ODAと国際協力の系統的情報を網羅するわが国唯一の専門月刊誌。

**開発教育キット (Part4)
アフリカ大好き!
-アフリカからこんにちは-**



貸出可
ビデオ
テキスト

問い合わせ先: 国際協力推進協会
TEL 03(3947)0491

アフリカのエチオピアに住む少女の一日の生活を紹介。

**ODA開発教育キット
世界みんなの笑顔のために**



貸出可
ビデオ
テキスト

問い合わせ先: 国際協力推進協会
TEL 03(3947)0491

小学校6年生向けではあるが、ビデオ、テキストとも分かりやすくODAやベトナム、カンボジアを例とした援助が解説されている。

ODAって何だろう?



貸出可

ビデオ
テキスト

問い合わせ先: 国際協力推進協会
TEL 03(3947)0491

中米のグアテマラ、エル・サルヴァドルにおけるプロジェクトを中心に紹介し、日本の援助を分かりやすく解説。

ODA～アジアで開く未来への扉 国際協力の現場から～



有料

書籍

問い合わせ先: 国際協力推進協会
TEL 03(3947)0491

定価: ¥1,500 発行: 1999年
ミャンマー、バングラデシュ、タイで行われたODAの事例について、計画から完成までフォローし「顔の見える援助」を分かりやすく解説。

APIC国際協力マンガシリーズ1 アリンゴと日本のママ～アフリカでよみがえった日本のぞうり～



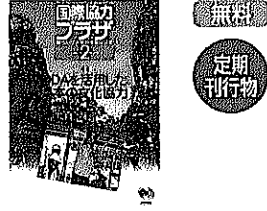
有料

書籍

問い合わせ先: 国際協力推進協会
TEL 03(3947)0491
定価: ¥900+税 発行: 2000年

アフリカでの国際協力の例をモデルに、現地の人々と日本女性の心の交流を描いたマンガ。楽しみながら国際協力を理解できます。

国際協力プラザ



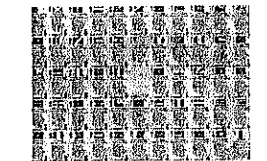
無料

定期
刊行物

問い合わせ先: 国際協力推進協会
TEL 03(3947)0491
定価: ¥500

政府開発援助 (ODA) を中心とした国際協力に関する総合的な月刊情報誌。

遊びながら世界を知ろう! 「世界をもっと知ろうよ! トランプ・マップ」



無料 ツール

問い合わせ先: 国際協力推進協会
TEL 03(3947)0491

世界の国々の国旗、面積、人口、平均寿命、総就学率、一人当たりGDP等を各カードに掲載し、子どもたちが楽しみながら学習できるようにトランプ形式にまとめた教材。アジア+大洋州編、欧+ロシア+NIS諸国編、アフリカ編、南北アメリカ編の4種類がある。

ひょうたん島問題 ～多文化共生をめざして～



有料

CD-
ROM

問い合わせ先: ジークス
FAX 06(6459)3913
定価: ¥4,800+税 発行: 2000年

多文化共生の観点から体験的に理解しようとするシュミレーション教材。CD-ROM、活動ツール、評価シート、解説などで構成。

国際理解教育ビデオ いっしょに学ぼうシリーズ 第2弾 バングラデシュ



有料

ビデオ
テキスト

問い合わせ先: 日本ユネスコ協会連盟
TEL 03(5424)1121
定価: ¥5,000 発行: 1998年
バングラデシュを題材として参加型ワークが実践できるような内容となっている。

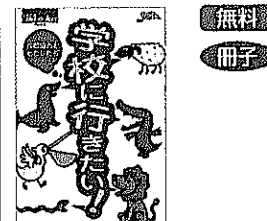
日本版ユネスコ・ピースパック



ホーム
ページ

制作: 日本ユネスコ協会連盟
掲載URL: www.unesco.or.jp
小学生向けであるが、平和教育の導入の題材として用いるには使いやすい教材。平和、環境のテーマで1コマの授業が組めるようシート状のツールとなっている。

JICA INFO-KIT 学校に行きたい! ～国際協力とわたしたち～



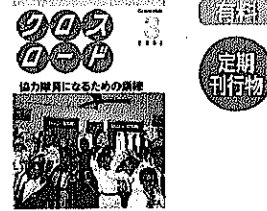
無料

冊子

問い合わせ先: JICA国内機関
P89参照

主に小学生を対象とした国際協力に興味をもってもらうための導入の小冊子。分かりやすいように、写真や図を多用している。

クロスロード



有料

定期
刊行物

問い合わせ先: 協力隊を育てる会
TEL 03(3402)2153
定価: ¥310

「顔の見える援助」の最前線で活躍している青年海外協力隊員をはじめボランティアの生の声を伝える雑誌(月刊)。

国際協力



有料

定期
刊行物

問い合わせ先: 国際開発ジャーナル社
TEL 03(3584)2191
定価: ¥6,000 (年間購読)

途上国の現状やJICA事業に関するさまざまな情報を取り扱ったJICAの月刊広報誌。

JICAフロンティア



有料

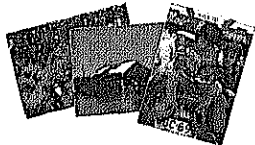
定期
刊行物

問い合わせ先: 国際協力出版会
TEL 03(3372)6771
定価: ¥6,000 (年間購読)

JICA事業を幅広く紹介している広報誌。読みやすく国際協力の現状を解説。

フォトランゲージ

無料 写真



問い合わせ先：JICA国内機関
P83参照

途上国の風景、日常生活、子どもたちの様子など、カラー写真5枚1セット（7ヶ国分あります）で構成され、生徒の想像力やプレゼンテーション能力を高めることを目的として作成された。

開発途上国ってどんな国？ ～小さな友情から大きな夢へ～



貸出可 ビデオ

問い合わせ先：JICA国内機関
P83参照

日本人の少年が途上国を訪れ、現地の生活の困難さを目の当たりにし、途上国を認識していくアニメーションビデオ。

約束～アフリカの水と緑～

貸出可 ビデオ

問い合わせ先：JICA国内機関
P83参照

日本人の少年とアフリカの遊牧民の子供との友情を描くアニメーションビデオ

JICAくんの国際協力って知ってる？

JICAくんのようこそ日本へ！

～日本で学ぶ世界の研修員～



貸出可 ビデオ

小学校高学年向けの、国際協力やJICA事業を紹介したビデオ。「ようこそ日本へ！」は開発途上国からの技術研修員に焦点を当てて構成している。授業等で扱いやすいようにいずれも12分にコンパクトに編集されている。

それぞれの地平線

貸出可 ビデオ

問い合わせ先：JICA国内機関
P83参照

ケニア、ブラジル、カンボジアの援助を通じて、技術協力の意義、役割を紹介。

「地球の仲間たち」 フォトランゲージバージョン



有料

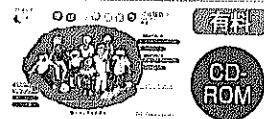
写真

テキスト別売

問い合わせ先：開発教育を考える会
FAX 046 (255)1867
e-mail:chikyu@group.email.ne.jp
定価：¥800（テキスト別売¥500）

世界の子供の写真5枚(A4版)に加え、写真解説、子どものメッセージカード、読み札カードがセットになっている。同じ地球に生きる仲間たちの生活を知ってもらうことをねらいとしたフォトランゲージ教材。全25カ国（価格は1カ国あたり）。テキスト（利用解説書）は教材の使い方と授業に役立つワークシートを掲載。

「地球の仲間たち」 フォトランゲージ



問い合わせ先：

制作：開発教育を考える会
販売：有限会社イント
TEL 03 (5725)5688
FAX 03 (5725)5689
URL <http://www.nakamatachi.jp/>
(体験サイト)

定価：

シングルライセンス(個人用) 5700円
5台ライセンス(授業用) 27500円
22台ライセンス(授業用) 12万円
学校内無制限ライセンス(授業用) 18万円

19カ国20人(ルーマニア、ニジェール、エチオピア、ヨルダン、スリランカ、ネパール、フィリピン、ラオス、パプアニューギニア、USA、ホンジュラス、コロンビア他)の子どもたちの日常生活(家族、学校、遊び、食事、時間割など)をクイズやフォトランゲージで紹介。子どもたちの夢やあいさつ、国の紹介等が網羅されています。英語の授業にも対応。

「NEWマジカルバナナ」 補助教材CD-ROM

有料

CD-ROM

問い合わせ先：(特活)地球の木
TEL 045 (228)1575
定価：¥1,000 発行：2003年

「New マジカルバナナ」の補助教材。クイズの問題や解答用グラフ、バナナの資料写真をはじめとしてフィリピンの暮らし、子ども達、食などテーマ別に70数枚の写真を収蔵。フィリピンの農村のイメージ作り、又プリントアウトしてフォトランゲージ用写真に活用できる。

教師海外研修バックナンバーの紹介



無料 冊子

問い合わせ先：JICA国内機関 (P83参照)

本研修に参加した教師の実践例を収めた教材集のバックナンバーです。詳しくはJICA支部・センターまでお問い合わせ下さい。

協力隊体験を伝えよう2

～生きる力を育てるワークショップ集～



有料 書籍

問い合わせ先：
青年海外協力協会
TEL 03 (3406)9151
定価：¥1,000 (送料¥270)
発行：2002年

青年海外協力隊経験者が自らの体験に基づいて得た国際理解、異文化理解をそれぞれの地域で伝えようと取り組んできた実践報告書。

開発教育教材「ワールド・ボックス」

貸出教材 物品

問い合わせ先：青年海外協力協会
TEL 03(3406)9151
貸出料金：
3,000円×ボックス数
衣類は2,000円×点数

物品の例

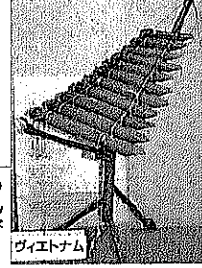


ボリビア

・マンタ(ショール)やボジェーラ(スカート)などの普段着が納められています。

ヴェトナム

・ダン・トゥルンと呼ばれるミニチュアの竹もっせんです。分解して持ち運びできます。

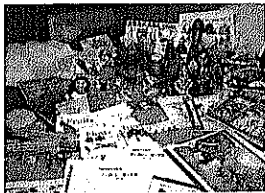


開発教育のワークショップでは、実際に手に取って眺め、体験できる生活用品や写真などを使用することが多くなっていますが、途上国の品物は手に入れるのが難しいのが現状です。青年海外協力協会(JOCA)では途上国の民芸品や生活用品等を収集し説明書をつけ、国別・テーマ別に箱に納めた「ワールド・ボックス」を用意しています。

<http://www.joca.or.jp>

他にもインドネシア、バングラデシュ、タンザニア、トンガなどに加え、新たに中国、メキシコ、エジプト、コートジボワールなどが加わり、28ヶ国分のBOXがあります。

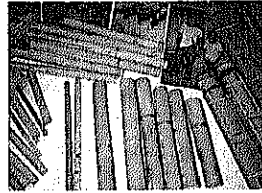
国際理解教育教材
フィリピン・ボックス



問い合わせ先：ピナツボ復興むさしのネット
TEL 0422(34)5498
貸出料金：¥3,000

民族衣装や生活用品など40点、写真60枚、解説や授業案などの資料。アジアの国々や国際協力などの学習の導入として、またゲストの小道具として利用できる。

フィリピン・
竹の楽器ボックス



問い合わせ先：ピナツボ復興むさしのネット
TEL 0422(34)5498
貸出料金：¥3,000

山岳少数民族の伝統的な竹の楽器6種、写真35枚、演奏方法ビデオ。

戦争と女性を考える
ワークショップ・キット



制作：フィリピン元「慰安婦」裁判支援ネット・三多摩
問い合わせ先：ピナツボ復興むさしのネット
TEL 0422(34)5498
貸出料金：¥3,000

世界各地で現在も続く戦争・紛争下での性暴力や平和についてジェンダーの視点に立った話し合いに。

バングラデシュ・
ボックス 貸出教材

問い合わせ先：開発教育協会
TEL 03(5844)3630
貸出料金：¥3,150
送料別途実費

バングラデシュで日常使われている「もの」や写真が詰まったボックス教材。バングラデシュの衣服や鍋などの生活用品約12点、写真パネル38枚、教材についての解説カード、バングラデシュについての基礎知識をまとめたバングラブック、この教材の活用事例を紹介した事例集が入っている。

JICAはこんなこともしています

●中学生・高校生エッセイコンテスト

中学生と高校生を対象に国際協力について考える機会の提供の一環として、毎年、開発途上国や国際協力をテーマにしたエッセイを募集しています。優秀者には開発途上国への研修旅行がプレゼントされます。2003年度の応募総数は26,907点でした。

●教師海外研修

国際協力に関心があり、授業やクラブ活動などで開発教育や国際理解教育を実践している小学校・中学校・高校の教員を対象に、開発途上国での国際協力の現場を視察し、今後の授業に役立ててもらおうことを目的とした研修プログラムです。詳細はお近くのJICAの国内機関にお問い合わせ下さい。

●国際協力実体験プログラム

JICA国内機関では、研修員との交流、帰国した専門家や青年海外協力隊OB・OGによる講義やワークショップに参加する生徒を募り、国際協力への理解を深めています。

●青年海外協力隊（JOCV）体験入隊プログラム

青年海外協力隊訓練所（福島県二本松、長野県駒ヶ根）では、地域の中学生に協力隊活動を理解してもらうために体験入隊プログラムを実施しています。

●大学生エッセイコンテスト

主に大学生を対象に、国際協力について考える機会の提供の一環として、毎年、開発途上国や国際協力をテーマにしたエッセイを募集しています。優秀者には欧州や東南アジアへの航空券などがプレゼントされます。2003年度の応募総数は352点でした。

●JICAインターン

将来、国際協力の分野で活躍することを希望する大学生・大学院生を対象に、JICAで短期的に実務を経験し、国際協力分野での研究を深める機会を提供します。

●JICA国際協力出前講座

（旧「サーモン・キャンペーン」）

開発途上国で国際協力に携わったJICA職員、青年海外協力隊OB・OG、来日中の研修員や帰国専門家などを全国各地の学校や地方自治体、国際交流団体、NGO講座などに講師として派遣します。講師は自らの経験をもとに写真やビデオを見せたり地図を広げたりしながら、わかりやすく講義します。

■ JICA はこんなことを募集しています

年 齢	20 歳			30 歳		40 歳		50 歳		60 歳→		
	(中学校生活)			(高校生活)		(大学生生活)		社会人				
募集内容	中学生エッセイ コンテスト	高校生エッセイ コンテスト	大学生エッセイ コンテスト									
							青年海外協力隊（JOCV） 募集対象年齢（20才～39才）	シニア海外ボランティア 募集対象年齢（40才～69才）				
							日系社会青年ボランティア 募集対象年齢（20才～39才）	日系社会シニアボランティア 募集対象年齢（40才～69才）				
	(個別) 専門家 登録可能年齢（30才～59才）											
				ジュニア専門員 募集対象年齢 (25才～35才)			国際協力専門員 募集対象年齢 (35才～50才)					
	(先生方には小学校・中学校・高校教師海外研修)											
青年招へい合宿セミナー 参加者対象年齢(20代後半～40才)												

■地域国際化協会一覧

都道府県	団体名	所在地	電話番号 (FAX番号)
北海道	(社)北方圏センター	〒060-0003 札幌市中央区北三条西7丁目 道庁別館12F	011-221-7840 (011-221-7845)
青森県	(財)青い森みらい創造財団国際交流課	〒030-0803 青森市安方1-1-32 水産ビル5F	017-735-2221 (017-735-2252)
岩手県	(財)岩手県国際交流協会	〒020-0025 盛岡市大沢川原2-4-20 岩手県立国際交流プラザ内	019-654-8900 (019-654-8922)
宮城県	(財)宮城県国際交流協会	〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 宮城県仙台合同庁舎7F	022-275-3796 (022-272-5063)
秋田県	(財)秋田県国際交流協会	〒010-0922 秋田市旭北栄町1-5 秋田県社会福祉会館4F	018-864-1181 (018-864-0160)
山形県	(財)山形県国際交流協会	〒990-8580 山形市城南町1-16-1 霞城セントラル2F 山形県国際交流センター	023-647-2560 (023-646-8860)
福島県	(財)福島県国際交流協会	〒960-8103 福島市舟場町2-1 福島県庁舟場町分館 2F	024-524-1315 (024-521-8308)
茨城県	(財)茨城県国際交流協会	〒310-0851 水戸市千波町後川745 県民文化センター2F 分館	029-241-1611 (029-241-7611)
栃木県	(財)栃木県国際交流協会	〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内	028-621-0777 (028-621-0951)
群馬県	(財)群馬県国際交流協会	〒971-0026 前橋市大手町2-1-1 群馬会館3F	027-243-7271 (027-243-7275)
埼玉県	(財)埼玉県国際交流協会	〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 浦和地方庁舎3F	048-833-2992 (048-833-3291)
千葉県	(財)ちば国際コンベンションビューロー	〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 W.B.G マリブイースト14F	043-297-0245 (043-297-2753)
東京都	(財)東京都国際交流委員会 事務局	〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 東京都庁第一本庁舎26階南側 (生活文化局文化振興部内)	03-5320-7739 (03-5388-1327)
神奈川県	(財)神奈川県国際交流協会	〒247-0007 横浜市長区小管ヶ谷1-2-1 神奈川県立地球市民かながわプラザ1F	045-896-2899 (045-896-2945)
新潟県	(財)新潟県国際交流協会	〒950-0078 新潟市万代島5-1 万代島ビル2階	025-290-5650 (025-249-8122)
富山県	(財)とやま国際センター	〒930-0856 富山市牛島新町5-5 (インテック明治生命ビル 4F)	076-444-2500 (076-444-2600)
石川県	(財)石川県国際交流協会	〒920-0853 金沢市本町1-5-3 リファール3F	076-262-5931 (076-263-5931)
福井県	(財)福井県国際交流協会	〒910-0004 福井市宝永3-1-1	0776-28-8800 (0776-28-8818)
山梨県	(財)山梨県国際交流協会	〒400-0035 甲府市飯田2-2-3 山梨県国際交流センター内	055-228-5419 (055-228-5473)
長野県	(財)長野県国際交流推進協会	〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2 長野県庁内	026-235-7186 (026-235-4738)
岐阜県	(財)岐阜県国際交流センター	〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-53 岐阜県県民ふれあい会館6F	058-277-1013 (058-272-8839)
静岡県	(財)静岡県国際交流協会	〒420-8601 静岡市追手町9-6 静岡県庁西館4F	054-221-3355 (054-251-8148)
愛知県	(財)愛知県国際交流協会	〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-6-1 愛知県三の丸庁舎内	052-961-8744 (052-961-8045)
三重県	(財)三重県国際交流財団	〒514-0009 津市羽所町700 アスト津3F みえ県民交流センター	059-223-5006 (059-223-5007)
滋賀県	(財)滋賀県国際協会	〒520-0801 大津市におの浜1-1-20ピアザ淡海2F	077-526-0931 (077-510-0601)
京都府	(財)京都府国際センター	〒600-8216 京都市下京区烏丸通塩小路下ル 京都駅ビル9F	075-342-5000 (075-342-5050)
大阪府	(財)大阪府国際交流財団	〒598-0048 泉佐野市りんくう往来北1番 りんくうゲートタワービル17F	0724-60-2371 (0724-60-2377)
兵庫県	(財)兵庫県国際交流協会	〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 国際健康開発センタービル内	078-230-3036 (078-230-3080)
奈良県	(財)なら・シルクロード博 記念国際交流財団	〒630-8215 奈良市東向中町28 奈良近鉄駅ビル6F	0742-27-1822 (0742-27-2434)
和歌山県	(財)和歌山県国際交流協会	〒640-8319 和歌山市手平2-1-2 県民交流プラザ[和歌山ビッグ愛]8F 和歌山県国際交流センター内	073-435-5240 (073-435-5243)

都道府県	団体名	所在地	電話番号 (FAX番号)
鳥取県	(財)鳥取県国際交流財団	〒680-0947 鳥取市湖山町西4-110-5	0857-31-5951 (0857-31-5952)
島根県	(財)しまね国際センター	〒690-0826 松江市学園南1-2-1 くにびきメッセ2F	0852-31-5056 (0852-31-5055)
岡山県	(財)岡山県国際交流協会	〒700-0026 岡山市奉還町2-2-1 岡山国際交流センター内	086-256-2000 (086-256-2226)
広島県	(財)ひろしま国際センター	〒730-0037 広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F	082-541-3777 (082-243-2001)
山口県	(財)山口県国際交流協会	〒753-0811 山口市吉敷3185-1	083-925-7353 (083-920-4144)
徳島県	(財)徳島県国際交流協会	〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61 クレメントプラザ6F	088-656-3303 (088-652-0616)
香川県	(財)香川県国際交流協会	〒760-0017 高松市番町1-11-63	087-837-5901 (087-837-5903)
愛媛県	(財)愛媛県国際交流協会	〒790-0844 松山市道後一万733番	089-917-5678 (089-917-5670)
高知県	(財)高知県国際交流協会	〒780-0870 高知市本町4-1-37	088-875-0022 (088-875-4929)
福岡県	(財)福岡県国際交流センター	〒810-0001 福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡内	092-725-9200 (092-725-9206)
佐賀県	(財)佐賀県国際交流協会	〒840-8570 佐賀市城内1-1-59	0952-25-7921 (0952-25-7417)
長崎県	(財)長崎県国際交流協会	〒850-0873 長崎市諏訪町5-20	095-823-3931 (095-832-2400)
熊本県	熊本国際協会	〒862-8570 熊本市水前寺6丁目18番1号 県庁行政棟本館7階 熊本県企画振興部国際課内	096-385-4488 (096-385-4488)
大分県	(財)大分県国際交流センター	〒870-0047 大分市中島西3-1-7	097-538-5461 (097-538-5162)
宮崎県	(財)宮崎県国際交流協会	〒880-0804 宮崎市宮田町1-6 県庁東別館6F 宮崎県国際交流センター内	0985-32-8457 (0985-32-8512)
鹿児島県	(財)鹿児島県国際交流協会	〒892-0816 鹿児島市山下町14-50 かごしま県民交流センター 1階	099-221-6620 (099-221-6643)
沖縄県	(財)沖縄県国際交流・人材育成財団	〒900-0034 那覇市東町1-1 那覇東町会館7F	098-941-6755 (098-941-6812)

札幌市	(財)札幌国際プラザ	〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNBビル3F	011-211-2105 (011-232-3833)
仙台市	(財)仙台国際交流協会	〒980-0856 仙台市青葉区青葉山仙台国際センター内	022-265-2211 (022-265-2485)
千葉市	(財)千葉市国際交流協会	〒260-0028 千葉市中央区新町1000 センシティタワー12F	043-238-8000 (043-238-8550)
横浜市	(財)横浜市国際交流協会	〒231-0023 横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル9F	045-671-7128 (045-671-7187)
川崎市	(財)川崎市国際交流協会	〒211-0033 川崎市中原区木月祇園町237-1 川崎市国際交流センター内	044-435-7000 (044-435-7010)
名古屋市	(財)名古屋国際センター	〒450-0001 名古屋市中村区那古野1-47-1	052-581-5678 (052-581-5629)
京都市	(財)京都市国際交流協会	〒606-8436 京都市左京区栗田口鳥居町2-1	075-752-3010 (075-752-3510)
大阪市	(財)大阪国際交流センター	〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6	06-6772-5931 (06-6772-7600)
神戸市	(財)神戸国際協力交流センター	〒651-0087 神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館20階	078-291-0641 (078-291-0691)
広島市	(財)広島平和文化センター 国際交流・協力課	〒730-0811 広島市中区中島町1-5	082-242-8879 (082-242-7452)
北九州市	(財)北九州国際交流協会	〒805-0062 北九州市八幡東区平野1-1-1 国際村交流センター3F	093-662-0055 (093-662-6622)
福岡市	(財)福岡国際交流協会	〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-1	092-733-5630 (092-733-5635)

■問い合わせ先 独立行政法人国際協力機構（JICA）国内機関一覧

JICA札幌

(担当地域：帯広市を含む東部地域以外)
〒003-0026 北海道札幌市白石区本通16丁目南4-25
TEL 011 (866) 8333

JICA帯広

(担当地域：帯広市を含む東部地区)
〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1-2
TEL 0155 (35) 1210

JICA東北

(担当地域：青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県)
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1
仙台第一生命タワービル15階
TEL 022 (223) 5151

JICA二本松

(担当地域：福島県)
〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂4-2
TEL 0243 (24) 3200

JICA筑波

(担当地域：茨城県)
〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-6
TEL 0298 (38) 1111

JICA 東京

(担当地域：栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・
東京都23区・新潟県)
〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-5
TEL 03 (3485) 7051

JICA横浜

(担当地域：神奈川県)
〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港2-3-1
TEL 045 (663) 3251

JICA八王子

(担当地域：東京都23区以外・山梨県)
〒192-0043 東京都八王子市暁町2-31-2
TEL 0426 (26) 5411

JICA駒ヶ根

(担当地域：長野県)
〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15
TEL 0265 (82) 6151

JICA中部

(担当地域：静岡県・岐阜県・愛知県・三重県)
〒465-0094 愛知県名古屋市長区亀の井2-73
TEL 052 (702) 1391

JICA北陸

(担当地域：富山県・石川県・福井県)
〒920-0031 石川県金沢市広岡3-1-1
金沢パークビル3F
TEL 076 (233) 5931

JICA大阪

(担当地域：滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・
和歌山県)
〒567-0058 大阪府茨木市西豊川町25-1
TEL 0726 (41) 6900

JICA兵庫

(担当地域：兵庫県)
〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
TEL 078 (261) 0341

JICA中国

(担当地域：鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県)
〒739-0046 広島県東広島市鏡山3-3-1
TEL 0824 (21) 6300

JICA四国

(担当地域：徳島県・香川県・愛媛県・高知県)
〒760-0050 香川県高松市亀井町5-1
百十四ビル13階
TEL 087 (833) 0901

JICA九州

(担当地域：福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・
大分県・宮崎県・鹿児島県)
〒805-8505 福岡県北九州市八幡東区平野2-2-1
TEL 093 (671) 6311

JICA沖縄

(担当地域：沖縄県)
〒901-2552 沖縄県浦添市字前田1143-1
TEL 098 (876) 6000

以上の最寄りの国内機関にお気軽にお問い合わせ下さい。

総合的な学習の時間・選択教科に役立つ国際理解教育の手引き
「同じ地球の上に生きる」

平成14年度 高校教師海外研修に参加して

平成16年3月発行

発行者 独立行政法人 国際協力機構

〒151-8558

東京都渋谷区代々木2丁目1番1号

新宿マインズタワー9階

TEL 03-5352-5628 FAX 03-5352-5018

URL <http://www.jica.go.jp/>



JICA
ジャイカ



LIBRARY